

乳がん高度検診・治療センター

NEW—すNo.104

トリプルネガティブ乳がんの手術前後の治療に 免疫チェックポイント阻害薬(キイトルーダ®)が参入!

2018年に本庶佑先生がノーベル医学生理学賞を受賞し、一躍有名となった「免疫チェックポイント阻害薬」。免疫細胞を活性化することで抗腫瘍効果(がん細胞を攻撃する効果)を発揮するお薬です。乳がんの治療としては2019年に進行再発乳がん保険承認されましたが、2022年9月末、トリプルネガティブ乳がん*患者さんの手術前後の治療として、ペムプロリズマブ(キイトルーダ®)の使用が適応拡大となりました!(免疫チェックポイント阻害薬については、センターニュースNo.92を参照ください)
トリプルネガティブ乳がん* ホルモン受容体陰性かつHER2陰性のタイプの乳がん

トリプルネガティブ乳がんの治療について

トリプルネガティブ乳がんは抗がん剤が有効であり、腫瘍の縮小と再発予防のため、手術の前に抗がん剤の治療から開始することが多いタイプです。今回保険で認められたのは、手術前後の抗がん剤治療に、免疫チェックポイント阻害薬であるキイトルーダ®を追加する治療の方法です。

Stage2以上のトリプルネガティブ乳がん患者さんを対象としたKEYNOTE(キーノート)-522試験という大規模な国際臨床試験の結果

キイトルーダ®を併用したの方が、
・手術後の顕微鏡の検査でがんが完全消失している割合が増える
・再発のリスクが下がる

ことが分かりました。
この結果により保険適応が拡大となりました。

手術前治療

キイトルーダ®
(8回投与)

+

抗がん剤治療
カルボプラチン+パクリタキセル ⇒ AC/EC

手術後治療

キイトルーダ®
(9回投与)

手術

✓ 免疫関連有害事象

免疫チェックポイント阻害薬には、免疫反応が過剰になり正常細胞を傷つけてしまう「免疫関連有害事象」という副作用が起こる可能性があります。非常に頻度は低いものの、副作用の出る臓器や症状様々で、中には重症化するケースも報告されています。

「万が一」に備えて対応できるよう、当院では乳腺外科のみならず病院全体として、多職種チーム体制作りに取り組んでいるところです。

「いつもと違う」症状があればできるだけ早くスタッフにご連絡下さい

何かご質問等がありましたら、当院のスタッフまでお問合せください。